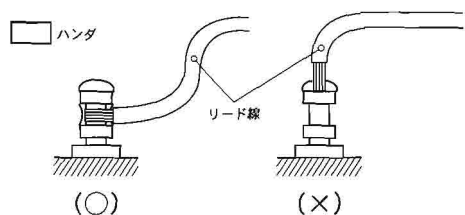


⚠️ ご使用上の注意

- 許容電流の範囲内でご使用ください。(特に一定電流が長時間連続して流れる場合は、使用される電流の2倍以上の許容電流を有したスリップリングをお選びください。)
- 接続の際は、飛番号の端子接続は避け隣接する端子を使用し、接続してください。
- 接続の際、極間を短絡させないようにご注意ください。
- 半田付け端子方式のスリップリングの端子接続の際は、30W以下の半田ごてにて5秒以内に取り付けてください。又、半田付け後端子が十分冷えないうちに端子に力を掛けないようにしてください。端子上部の半田は刷子固定用の半田ですので、この部分への半田付けは避けてください。
(ご要求頂ければ、端子への電線半田付けも行います。)

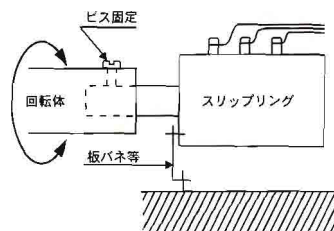


- 端子には、9.8 N以上の外力を加えないようにしてください。
- リード線の引っ張り強度は、2.9 N以下にてご使用ください。
- 回転軸へのラジアル・スラスト荷重は、下表の値以下でご使用ください。(ラジアル荷重は、ケース端面から5mmの位置の値です。)

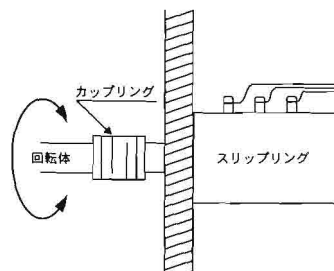
機種	許容荷重	機種	許容荷重	機種	許容荷重
SPM-12	0.98N	SPM-35	9.8N	SPK-90	9.8N
SPM-15	0.98N	SPM-50	9.8N	SPK-115	29.4N
SPM-22	1.96N	SPM-70	19.6N	SPM-100	29.4N

- 極力振動が掛からないように配慮してください。(振動により、ブラシとリングとの躍動回数が見かけの躍動回数より多くなり寿命の早まることが考えられます。)
- スリップリングには、水滴・油・ペースト等がかからないようにご注意ください。
(一度油・ペースト等がスリップリングの中に侵入するとノイズの原因となり、除去は極めて困難ですのでご注意ください。)
- 高湿度の場所で使用する場合は、防水ケース等をつける工夫をしてください。

- 回転体に直接スリップリングのシャフトをビス等で固定する場合は、スリップリング固定側をビス等で固定せず、なるべくフリーになるように回転止め程度の板バネ等にて止めてください。



- 静止機器に取り付ける場合は、スリップリングの回転軸と接続する回転体をカップリング等を利用し、芯ずれ等による負荷が直接スリップリングの回転軸にかからないよう接続してください。
(オプションとして専用のカップリングを数種類用意しております。)



ご注文方法

- 標準仕様品をご注文の際は、機種名・極数・末尾の2ケタのモデルNoを明示してください。
- 標準仕様と異なるご注文の際は、仕様書又は30頁の機種選定表をコピーして空白欄にご記入の上お問い合わせください。標準仕様品をご希望の際も最適なスリップリングを御利用頂くために、機種選定表の各項目をお知らせ頂ければ幸いです。

保証

- 保証期間は、納入後1年間です。1年以内に当方の責任で不良となった場合は、無償にて、修理又は、交換致します。尚、二次保証は致しません。